

中央共同募金会による災害対応の取り組み

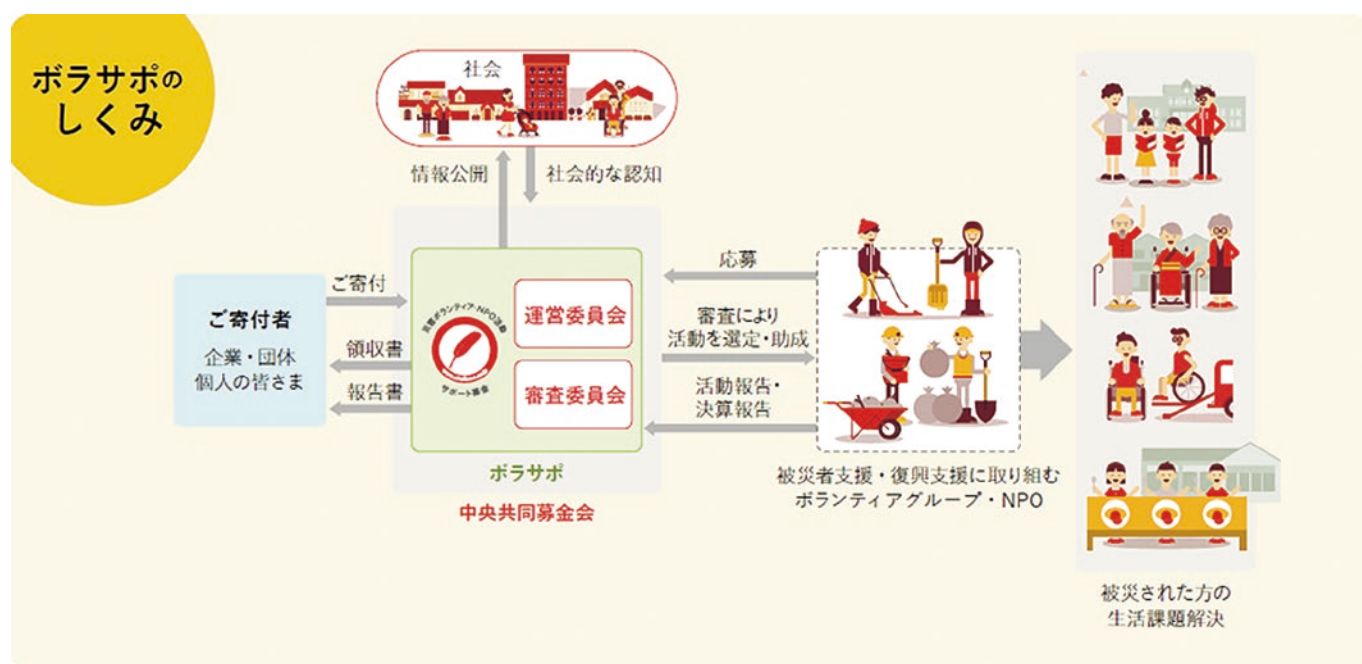
～被災地で活動するボランティアや NPO を活動支援金により支えるしくみ～



赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」(ボラサポ)は、風水害や地震等の災害で被災された方々の生活を取り戻すために、ボランティアグループや NPO 等が直接行う活動を支える資金を支援するしくみとして、寄付金の募集(活動支援金)と支援活動に対する助成をあわせて行っています。

平成 23 (2011) 年に発災した東日本大震災をきっかけに始まり、この間多くの寄付者の皆さまからのご支援により、ボラサポでは累計 1.7 万件の活動に、総額約 62 億円を助成しています。令和 6 (2024) 年 1 月 1 日に発災した「令和 6 年能登半島地震」では、石川県等で甚大な被害が発生したことから、令和 6 (2024) 年 1 月 17 日から「ボラサポ・令和 6 年能登半島地震」第 1 回助成の公募を開始し、ボランティア団体、NPO による被災地支援活動に 59 件 8,904 万円の助成を行っています。

ボラサポでは、こうした被災地で活動するボランティアグループや NPO 等を資金面から後押しすることで、寄付者の皆さまからお預かりしたご寄付とその想いを活動団体につなぐことにより、被災地の一日も早い復旧・復興にむけて、被災された方々に寄り添った支援を続けていきます。



▶ 「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」運営委員・審査委員(敬称略)

外部識者による運営委員会・審査委員会を設置し、ボラサポの運営や助成審査を行っています。

■運営委員

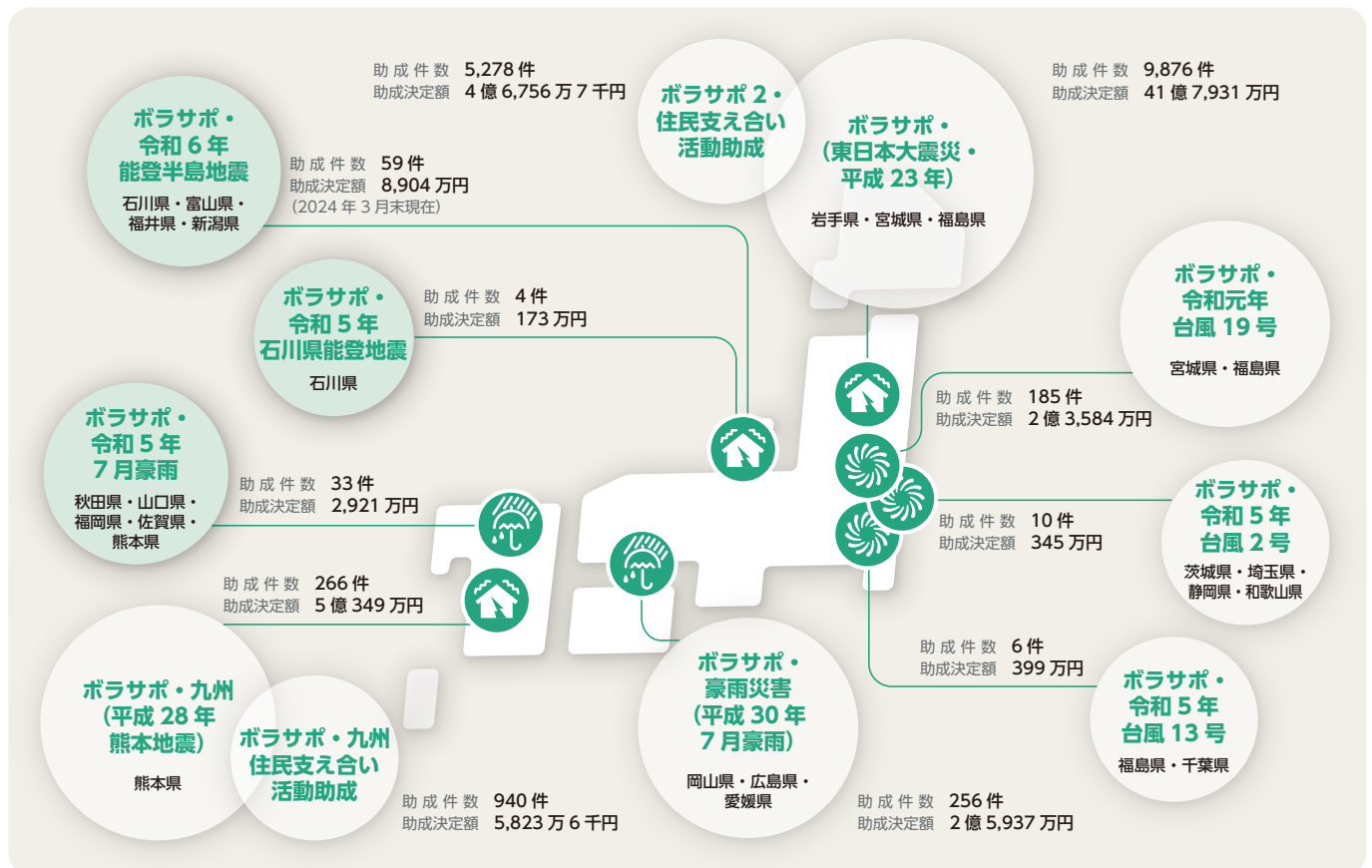
委員長	山 崎 美 貴 子	東京ボランティア・市民活動センター 所長
委 員	諏 訪 徹	日本大学 文理学部 社会福祉学科 教授
委 員	益 子 千 香	一般社団法人日本経済団体連合会 ソーシャル・コミュニケーション本部 上席主幹
委 員	明 城 徹 也	特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 事務局長
委 員	吉 田 建 治	特定非営利活動法人日本 NPO センター 事務局長
委 員	高 橋 良 太	社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉部長 生活福祉資金貸付事業支援室長 全国ボランティア・市民活動振興センター長
委 員	阿 部 陽 一 郎	社会福祉法人中央共同募金会 常務理事

▶ ボラサポの累計助成実績(平成 23(2011)年度から令和 5(2023)年度まで)

累計助成件数 ▶ **17,271 件**

累計助成総額 ▶ **61 億 8,661 万 8,749 円**

▶ 令和 5(2023)年度に発災した災害および過去の主な災害へのボラサポの支援状況



■ 審査委員

(2024 年 7 月 1 日現在)

委員長	菅 磨志保	関西大学 社会安全学部・大学院 社会安全研究科 准教授
委員	鈴木 昭紀	Yahoo!基金 事務局長
委員	前田 昌宏	日本生活協同組合連合会 組織推進本部 社会・地域活動推進部 地域コミュニティグループ グループマネージャー
委員	高山 和久	東京ボランティア・市民活動センター 副所長
委員	山崎 博之	社会福祉法人長野県社会福祉協議会 まちづくりボランティアセンター 主査
委員	青木 ユカリ	特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPO センター 常務理事・事務局長
委員	青山 織衣	社会福祉法人大阪ボランティア協会
委員	細川 日向	株式会社ダイナックス都市環境研究所 主任研究員 ※「ボラサポ・令和 6 年能登半島地震」臨時審査委員

令和 6 年能登半島地震 助成概要

2024（令和 6）年 1 月 1 日に発生した能登半島地震は最大震度 7 を記録し、石川県、富山県、新潟県、福井県などで甚大な被害が発生しました。

被災した地域では、被災家屋の片づけや、被災された方の心身のケアなど多くのボランティア団体や NPO による活動が行われています。こうした状況を踏まえ、「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金（ボラサポ・令和 6 年能登半島地震）」を立ち上げ、令和 6 年能登半島地震により被災された方を支えるため活動するボランティア団体や NPO の活動を資金面で支えるためのご寄付を募りそれを原資として、助成を実施しています。

▶ ボラサポ・令和 6 年能登半島地震

令和 5 年度中の助成決定件数 ▶ **59 件**

助成決定額 ▶ **8,904 万円**

プログラム	助成決定件数	助成決定額
第 1 回 短期助成	37 件	7,948 万円
中長期助成	22 件	956 万円

以降、令和 6 年度は 2 カ月に一度のペースで助成を実施

ボラサポ・令和 6 年能登半島地震助成

社会福祉協議会や NPO との連携による被災された方の命を守る支援活動

一般社団法人 BIG UP 石巻

（宮城県石巻市）

助成決定額 ▶ **600 万円**（第 2 回・第 3 回中期助成）

被災家屋の
保全活動



担当者の
声

▶ 能登半島地震における珠州市での活動内容について

被災された方の命を守るということを最優先に活動しています。

1 月 2 日に石巻を出発、3 日に七尾市で炊き出しをし、4 日に珠州市に入りました。被災地域の被害状況の調査と平行して応急的に家屋の保全活動をしました。発災直後、珠州市では交通事情の影響から物資が届きにくく、断水もしていることから、避難されている方の命を守ることを最優先に、指定避難所や自主避難所での炊き出し支援の調整を行っています。避難所も決して環境がいいと言える状態ではなく、損壊した自宅で生活をされている方もいるため、在宅被災者にも物資を届ける活動をしています。

▶ 地元の団体や NPO との連携について

珠州市社会福祉協議会のサポートを NPO と連携しながら行っています。社協の職員も被災されており、災害ボランティアセンターの立ち上げ・人員調整、社協の通常業務の運営サポートが必要です。また、現地で支援活動をする NPO も多いため、「NPO 等連絡会議」を立ち上げ、炊き出し、物資提供、家屋保全、道路状況などの情報共有を行っています。

行政は物資の提供やインフラ等の復旧を担いますが、自主避難所や在宅被災者に支援の手が届けにくく、公的支援には限界があります。私たち NPO は公的支援が届きにくい被災者に物資の提供や炊き出しの支援を行い、被災された方々一人ひとりのニーズに対応しています。その活動を持続的に行うために、ボラサポを通じて皆さまからの寄付を活用させていただいております。皆さまの寄付という厚意によって、多くの方の命や生活が守られています。改めて、寄付をいただいたみなさまに感謝申し上げます。被災地の一日も早い復興のために、引き続きよろしくお願いします。



代表理事
阿部由紀さん

活動の成果

- 発災直後から支援の届きにくい方々への炊き出しや物資支援など被災者に寄り添った支援を行った。
- 過去の災害支援の経験を活かし、社協や県内外の NPO とライフラインの復旧状況や被災者の避難状況等を共有する会議を立ち上げ、ニーズに沿った緊急支援活動を行った。

「災害時のボランティア活動資機材ネットワーク」助成の実施

赤い羽根と災害

今後発生が予測されている南海トラフ地震や首都直下地震のような大地震、複数の都道府県にまたがる広範囲の風水害等の大規模災害が発生した際には、被災者支援を行うボランティア活動の連携が求められます。

そのため、平時から発災時の対応能力を高め、迅速にボランティア活動を開始できる体制づくりにつなげていけるよう、「災害時のボランティア活動資機材ネットワーク助成」を実施し、ボランティア活動にかかる資機材等の整備やそれを活用するためのネットワーク構築を行う事業を支援しています。

令和5(2023)年度は、2県・1政令指定都市の3団体が行う事業に対して、各500万円、総額1,500万円の助成を決定しました。

▶ 令和5(2023)年度助成決定団体

助成決定団体	団体所在地
社会福祉法人富山県社会福祉協議会	富山県
社会福祉法人神戸市社会福祉協議会	兵庫県
社会福祉法人香川県社会福祉協議会	香川県

(順不同)



災害時のボランティア活動資機材ネットワーク助成

[令和5(2023)年度事業実施]

鳥取県災害時ボランティア活動資機材ネットワーク整備事業

社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会
(鳥取県鳥取市)

助成決定額 ▶ 500万円

購入した発電機で排水ポンプを動かし、溜まった水を排水する訓練の様子

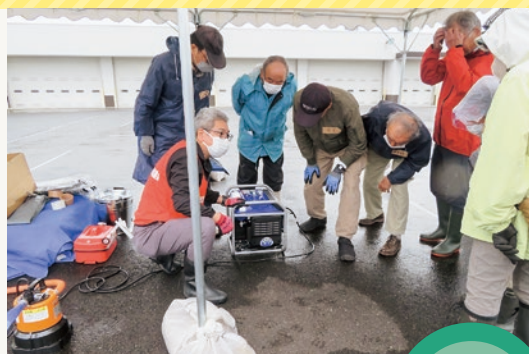
災害時のボランティア活動資機材は、県社協がその一部の整備を行いました。県内19市町村社協のうち何らかの資機材備蓄があるのは5社協のみで、その内容も十分とは言えませんでした。このたび資機材助成を受け、倉吉市社会福祉協議会、大山町社会福祉協議会および行政の協力をいただき、県内の東部、中部、西部の3カ所に新たな整備拠点を設けることができました。令和6年5月12日には、出水期を前に倉吉市社会福祉協議会と倉吉市ボランティア連絡協議会が連携し、整備した資機材を活用した災害ボランティア講座を開催しました。今後は、県内市町村社協が資機材を活用できるよう体制を整えていく予定です。

災害ボランティア講座の一部を動画で見ることができます。



活動の成果

- 県の東部のみではなく、中部、西部に資機材を整備することができ、災害等が発生した場合迅速に対応することが可能となった。
- 資機材を整備し、災害時に備えた研修、訓練を行うことができるようになった。



担当者の声

助成金により災害時のボランティアの資機材の充実を図ることができました。

今後は関係団体、地域住民と連携し、災害時を想定した訓練や研修に取り組んでいきます。寄付者の皆さまへ心より感謝申し上げます。



災害福祉支援センター
参事 寺谷直樹さん

令和 5(2023) 年度に発生した災害への助成

令和 5 (2023) 年度に発生した、令和 5 年石川県能登地震、令和 5 年台風 2 号、令和 5 年 7 月豪雨、令和 5 年台風 13 号、令和 6 年能登半島地震では各災害を特定した寄付の募集を行い、被災地において支援活動を展開する団体への助成を実施しました。

ボラサポで活動したボランティア数 ▶ のべ **13,752 名**

ボラサポの活動により支援した対象者数 ▶ のべ **124,185 名**

災 害 名	寄 付 額	助成決定件数	助成決定額
令和 5 年石川県能登地震	1,694,337 円	4 件	173 万円
令和 5 年台風 2 号	1,433,612 円	10 件	345 万円
令和 5 年 7 月豪雨	14,009,493 円	33 件	2,921 万円
令和 5 年台風 13 号	2,077,644 円	6 件	399 万円
令和 6 年能登半島地震	958,112,940 円	59 件	8,904 万円

令和 5(2023) 年度ボラサポ収支のご報告

収入額	1,048,322,992 円
(内訳) 寄付金	1,048,014,091 円
その他	308,901 円

支出額	90,510,868 円
(内訳) 助成金	86,306,418 円
事業費	4,204,450 円

※寄付金には、特定の災害を指定しないボラサポへの寄付額 70,686,065 円を含む

ボラサポ・令和 5 年 7 月豪雨助成

寒い冬を元気に乗り切るための 地域のつながり再生活動

秋田災害支援プロジェクト alecole
(秋田県仙北市)

助成決定額 ▶ **260 万円**

サロン開催の様子



担当者の
声

被災した秋田市域の情報共有会議の開催や災害ボランティアセンターおよび地域支え合いセンターの運営支援を行いました。

情報共有会議で得た情報を運営に活かし、関係機関の協力を得ながらサロンを実施し、地域住民が気兼ねなく集える場の設置を被災各地域で行いました。

また、情報共有会議の企画開催においては、支援団体の活動状況や被災者が抱える課題を共有し、各団体が持つ資源を最大限に活かせるよう役割分担を実施しました。

浸水により暖房器具を失った方々の越冬が大きな課題となっていました。ニーズ把握や物資の調達、配布も団体間の連携により対応が可能となりました。

私たちのような災害の被災地支援を行う団体は利益を生むものではないため、活動の継続が困難です。

そんななか、災害が発生した際に迷いなく現場に飛び出し活動することができるのは、寄付をして

くださる方々のおかげです。ご寄付の助けがあることで活動できることを心に留め、活動しています。



代表
千葉菜津樹さん

活動の成果

支援に関わった多くの団体と連携した活動が可能となり、シーズとニーズの調整がスムーズにできたため、被災された方が安心して冬を暮らせる体制構築や、コミュニティ再生のための場づくりが可能となりました。

支援P

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議

令和5（2023）年度は地震災害ならびに台風水害が多発しましたが、中央共同募金会が事務局を担う災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）では企業、NPO と協働した災害活動支援を行いました。

※災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）は、被災者支援における災害ボランティア活動の活性化の一助となることをめざして、企業、NPO、社会福祉協議会、共同募金会等により構成されたネットワーク組織です。

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）の取り組みは下記 URL にて紹介しています。

<https://shienp.net/>



1. 企業との協働支援について

①企業寄付による支援

支援Pでは、災害が発生すると被災地の災害ボランティアセンターへ運営支援者を派遣していますが、これらの派遣は企業のご寄付により運営しています。令和5（2023）年度は支援Pへ106,763,601円のご寄付をいただき、100人以上（延べ、1,000人）の運営支援者を被災地へ派遣し、災害ボランティアセンターの運営をサポートしてきました。

②物資提供による支援

災害が発生すると被災地ではさまざまなモノが必要とされます。被災者の命を守るための食糧や日用品などの物資、災害ボランティア活動を行うための資機材、被災者の見守り活動に必要な物資、運営支援者が使用するパソコンや携帯などさまざまな物資が必要になります。支援Pのネットワークを生かして、企業からこうした物資をご寄贈いただき、被災者や支援者に提供しました。

③企業人ボランティアの育成と推進

支援Pでは、構成メンバーの所属団体でもあるパナソニックグループと協働して、同社グループの従業員が災害ボランティアに主体的に参加できるように「災害ボランティア育成講座」を実施してきました。令和5年7月豪雨災害において、研修を受けた従業員に災害ボランティアとして活動に参加いただきました。



令和5年7月豪雨災害（久留米市）でのボランティア活動の様子

2. 災害時に期待される企業からの支援

災害発災時は公的な制度や民間サービスを享受できないため、さまざまな困難な状況に直面する被災者がいます。被災者を支える方法は、寄付、物資提供、企業人ボランティアなどさまざまなカタチがあり、企業の持つノウハウや社会資源を活用した被災地支援の期待は高まっています。支援Pでは、企業やNPO等の多様な機関と連携した被災地支援にあたります。

東日本大震災 震災遺児支援事業の実施

震災遺児の学業をサポート

「震災遺児修学資金」、中学校入学祝金、高等学校卒業祝金の給付

中央共同募金会では、東日本大震災で親などの養育者をなくした震災遺児（小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学等に在学中の方）を対象に、返済の必要のない「震災遺児修学資金」の給付と、中学校入学祝金、高等学校卒業祝金の給付を行っています。

【令和5（2023）年度 支援内訳】

修学資金給付（1人あたり282,000円/426名）、高等学校卒業祝金（1人あたり100,000円/54名）、
中学校入学祝金（1人あたり100,000円/22名）

災害時の企業・団体等の協力事業

「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金（ボラサポ）」は、特定の災害時以外にも、常時ご寄付を受け付けています。個人寄付のほか、企業・団体等からの法人寄付・社員募金、店頭募金やイベント募金、寄付つき商品、製品の提供等さまざまな形でご協力をいただいています。その一部をご紹介します。

防災・減災のノウハウを生かした社会貢献

三井住友海上火災保険株式会社並びに 三井住友海上全国代理店会

MS&AD インシュアランス グループの三井住友海上火災保険株式会社並びに三井住友海上全国代理店会（以下、全国 MSA）が“自然災害から命や生活を守る”をコンセプトに「防災チェックサービス」に取り組んでいます。その提供件数に応じて、全国 MSA から「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金（ボラサポ）」へご寄付をいただきました。

同社並びにこの取り組みにご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



売上の一部を、災害・被災地支援へ

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社

施設向け建材商品を展開しているパナソニック ハウジングソリューションズ株式会社では、不燃軽量天井材「エアリライト」の売上の一部を、災害・被災地支援として「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金（ボラサポ）」へご寄付をいただきました。

「エアリライト」は天井質量を軽くすることで、地震の際の建物の安全性を高めようというもので、この販売を通じて幅広く災害・被災地への備えに貢献すべく、寄付に至ったとのことです。継続的なご支援、誠にありがとうございます。



グループの各施設に募金箱を設置

H₂O サンタ

阪急・阪神百貨店をはじめとする H₂O リテイリンググループの社会貢献団体の H₂O サンタは、令和 6 年能登半島地震への支援としてグループの各施設 250 か所での募金箱の設置や Web で募金を募り、H₂O リテイリンググループ企業からの拠出金も合わせ、「ボラサポ・令和 6 年能登半島地震」にご寄付をいただきました。

募金にご協力を頂いた皆さま、ありがとうございます。

【募金箱設置施設】阪急百貨店、阪神百貨店、イズミヤ、阪急オアシス、関西スーパーなど



社員 WEB 募金箱

「ご存知ですか？ 社員 WEB 募金箱」

「社員 WEB 募金箱」とは、企業ごとに個別に設定した専用のネット募金 URL にアクセスすることで、社員の皆さまがネットから寄付するしくみです。社員の皆さまに WEB 募金箱の URL をお知らせいただくだけで、社内募金の告知ができ、寄付した社員の情報の取りまとめが可能となります。従来の社員募金に比べて CSR 担当者のご負担が軽減されるため、2019 年 10 月のスタート以来、多くの企業にご活用いただいています。中央共同募金会が「社員 WEB 募金箱」URL の開設を無料で行います。

詳細は、中央共同募金会・基金事業部 kikin@c.akaihan.or.jp（社員 WEB 募金箱担当）へお問い合わせください。

「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金(ボラサポ)」等へのご支援ご協力企業・団体【令和5(2023)年度受付分】

(五十音順・敬称略)

「令和5年石川県能登地震／令和5年台風2号／令和5年7月豪雨／令和5年台風13号」へのご支援

一般財団法人上田記念財団	SOMPOちきゅう倶楽部	日本航空株式会社
K&Oエナジーグループ株式会社	生活協同組合コープしが	芙蓉総合リース株式会社
株式会社光和	辻・本郷税理士法人	LINEヤフー株式会社「Yahoo!ネット募金」にご協力いただいた皆さま
ソフトバンク株式会社／ソフトバンクグループ株式会社／「つながる募金」にご協力いただいた皆さま	東京海上アシスタンス株式会社	
	東京海上グループ社員・代理店有志の皆さま	

「令和6年能登半島地震」へのご支援

アジレント・テクノロジー株式会社	住友精化株式会社	日本テキサス・インスツルメンツ合同会社
アジレント・テクノロジー・インターナショナル株式会社	セゾン自動車火災保険株式会社	株式会社野口工務店
Agilent Technologies Foundation	ソフトバンク株式会社／ソフトバンクグループ株式会社／「つながる募金」にご協力いただいた皆さま	野村グループ
アクアス株式会社	損保ジャパンDC証券株式会社	株式会社HashPalette「Web3 pray for Japan」にご協力いただいた皆さま
旭タンカー株式会社	SOMPOホールディングス株式会社	パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社
アズビル株式会社	Daigasグループ「小さな灯」運動	パナソニック ホールディングス株式会社
一般財団法人アズビル山武財団	大真船舶株式会社	樋口産業株式会社
株式会社アルトナー	株式会社大和証券グループ本社	株式会社日立産機システム
株式会社アルプス技研	大和ハウス工業株式会社	フィリップ モリス ジャパン合同会社
一般財団法人上田記念財団	武田薬品工業株式会社	福岡建材株式会社
ANAグループ	中外製薬株式会社	ホッカコンホールディングス株式会社
一般財団法人H ₂ Oサンタ	株式会社ツナググループ・ホールディングス	マイクコン財団／マイクコンテクノロジー社員有志の皆さま
SBクリエイティブ株式会社	株式会社ティエアンドエス	株式会社まえさか
SBテクノロジー株式会社	株式会社テクア技研	公益財団法人 三島海雲記念財団
株式会社NTTドコモ及びドコモ被災地支援募金にご協力いただいた皆さま	東京海上グループ社員・代理店有志の皆さま	三菱電機株式会社／三菱電機SOCIO-ROOTS基金
日下部機械株式会社	トヨタ自動車北海道株式会社	Yahoo!基金
株式会社三景	ナプテスコ株式会社	株式会社ゆうちょ銀行
一般財団法人 篠原欣子記念財団	日本イーライリリー株式会社	LINEヤフー株式会社「Yahoo!ネット募金」にご協力いただいた皆さま
STAND UP! JAPAN	日本建設工業株式会社	楽天銀行株式会社
住友金属鉱山株式会社	日本航空株式会社	楽天グループ株式会社
住友重機械工業株式会社	株式会社日本創造教育研究所	

「ボラサポ」全般へのご寄付

株式会社大林組／社員有志の皆さま	日本たばこ産業株式会社	株式会社八木熊
花王株式会社	株式会社日本テレビサービス	マツダ株式会社
株式会社SynaBiz	パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社	三井ダイレクト損害保険株式会社
J-Coin Pay「ばちっと募金」(株式会社みずほ銀行)	Pratt & Whitney An RTX Business	三井不動産商業マネジメント株式会社
東京センチュリー株式会社	ピツニーボウズジャパン株式会社／Pitney Bowes Foundation	三井住友海上火災保険株式会社ならびに三井住友海上全国代理店会
日本イーライリリー株式会社	ブックオフコーポレーション株式会社(キモチと。)	

「ボラサポ・九州」(熊本地震)へのご支援

三菱ケミカル・クリンスイ株式会社
LINEヤフー株式会社「Yahoo!ネット募金」にご協力いただいた皆さま

「ボラサポ2」(東日本大震災)へのご支援

社会福祉法人 NHK厚生文化事業団を通じてご寄付いただいた皆さま
ソフトバンク株式会社「つながる募金」にご協力いただいた皆さま
福島スポーツエンタテインメント株式会社
LINEヤフー株式会社「Yahoo!ネット募金」にご協力いただいた皆さま

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P)へのご寄付

アイシングループ	住友林業株式会社	電通グループ各社
MS & ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社	SOMPOちきゅう倶楽部	トヨタ自動車株式会社
社会福祉法人雲柱社	SOMPOホールディングス株式会社	パナソニック ホールディングス株式会社
株式会社ジェイテクト	株式会社デンソー	

このほか多くの企業・団体の皆さまにご支援・ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

※ご寄付の際に寄付申込書をご提出いただくなど、本会よりご連絡が可能であった企業・団体のうち、ご承諾いただいた場合のみ名称を掲載しております。
また、掲載にあたっては基準を設けさせていただきました。